

# こどもの未来を拓く 有銘・慶佐次の地域力

# 山紫海碧

## アブシバレー 学事奨励会

五月二十三日土日にアブシバレー、学事奨励会が有銘区公民館、慶佐次区公民館で開催されました。多くの区民の皆さんが見守る中、赤ちゃんから中学生までのたくさんの子供達が参加し、激励を受けました。



有銘幼小中学校  
学校通り 52号  
山紫に海碧く  
H27.5.27

有銘区の学事奨励会は午後一時に開始。多くの区民が見守る中、幼稚園から中学生までの子供達が参加し、自己紹介と将来なりたい職業や夢を語ってくれました。その中で一番多かったのがなぜか「警察官」でした。吉本区長さんから一人一人に図書カードの贈呈があり、仲嶺眞文さんより昨年活躍した児童生徒の受賞歴が紹介されました。MCの富山一さんの和やかな進行により、楽しく終了しました。



慶佐次区は、午後四時から学事奨励会を開始。又吉一樹さんの進行で昨年より参加者人数も増え、幼児から大学生まで商品券、学用品、図書カードなどが又吉育英会会長さんより贈呈されました。また、有銘校への助成金も交付されました。ご支援に感謝いたします。ありがとうございました。

午後二時から恒例のランドゴルフ大会です。雨も降らずみなさん張りきってランドゴルフを楽しみました。お楽しみ会の反省会では、豪華な景品がもれなくもらえ、体にも心にも良いアブシバレーとなりました。有銘の地域力はすごい。



いきました。今回は新里区長さんのご配慮により、お楽しみ会も準備されていました。吉本前PTA会長の進行で会食・懇談しながら、平川大介さんによる中国コマまわし、皿まわし、けん玉、ジャグリングが披露され、会場が盛り上がりました。

## アブシバレーの由来

アブシバレーとは旧暦の四月十五日頃、田畑に虫(ハツタヤネズミ)が大量発生することから田畑の雑草をきれいにし、害虫を捕らえて海に流す行事のことである。現代のように農薬などのない時代で、大事な稲や作物を守るための一大行事であったようです。虫を海に流した後は、相撲を取ったりして楽しく遊び、持ち帰った砂を家の庭にまき、悪い気が家に入らないようにするとされています。

アブシバレーの翌日は、針やクワを使ったり、持ったりして仕事をしたりはけないようです。骨休めのためではないかと考えられています。(山口栄三氏より拝聴)



有銘区や慶佐次区に住む子供達は幸せですね。子供達に対するご支援とご期待がこの地にはあると感じます。できれば、将来この地に戻って、地域を盛り上げてくれる人材が多く輩出することを願うばかりです。大変、充実した半日となり、心、晴れ晴れに帰宅しました。